



研究集会「フランス文学と愛」

2016年10月26日(水)

会場:首都大学東京(南大沢) 国際交流会館 中会議室

(第二部のみ、「レストラン・ルヴェソンヴェール南大沢」にて実施)

入場無料、事前予約不要 使用言語:第一部と第三部はフランス語。日本語訳の配布・通訳有

13:15-14:45 第一部 恋愛論の源流へ

趣旨説明 藤原真実(本学教授)

講演 「イタリア・ルネサンス期の人文主義者マルシリオ・フィチーノとプラトニック・ラブ」

ジョスラン・グロワザール(本学准教授)

司会=西山雄二(本学准教授) コメント=ジゼル・ベルクマン(国際哲学コレッジ)

15:00-16:00 第二部 レクチャー・コンサート「フランス音楽と愛」

レクチャーと歌唱 大久保康明(本学教授)

ピアノ伴奏=鈴木麻純(本学学部生)

(16:00-16:20 コーヒーブレイク)

16:20-17:50 第三部 フランス18世紀小説と愛

講演 「激情的な愛から昇華された愛へ——『マノン・レスコー』と『新・エロイズ』」

ジゼル・ベルクマン(国際哲学コレッジ)

司会=西山雄二(本学准教授) コメント=藤原真実

通訳:クリス・ベルアド(本学助教) 問い合わせ:フランス語圏文化論教室 Tel:042-677-2205

主催:教育改革推進事業「国際性を育む分野横断的な「比較文学」教育プログラム」、
科研費基盤C「17-18世紀フランス文学における「恋愛論争」の間テクスト的研究」